

PMP® (Project Management Professional) 資格はProject Management Institute (PMI®)の公認資格で、現在150カ国以上で認知されています。PMP資格保持者の数は、世界で221,000人に上り、その数は急激に増加しています。PMP資格を取得するには、規定レベルの教育・経験、プロとしての行動規範の厳守、PMP資格試験で合格点に達することなどが必要になります。

## なぜ、今PMP資格なのか

### 個人や組織にとっての利点:

- PMP資格は多くの組織のあらゆる役職において必要条件になってきています。
- 国際的なビジネス環境では標準的なプロジェクトコミュニケーションが必要とされます。これを背景に、日本では近年プロジェクトオフィスの存在がますます認知されてきており、プロジェクトマネジメントプロフェッショナル(PMP)に対するより大きな需要を産出しています。
- PMP資格は事実上のグローバルスタンダード(世界標準)になりつつあり、経営者はこの資格を国や文化を超えて人的スキルを標準化する方法として取り入れています。又PMP資格はスキル評価のベンチマークとしてますます使用されてきています。
- 個人として、より高給に値し、雇用市場においてより競争力を発揮します。
- 組織内にプロジェクトマネジメントプロセスを促進したいと思っている管理者は、自らが見本となってその試みをリードできます(自分たちが最初にプロジェクトマネジメントの公認資格取得に専念し、その後他者の資格取得を働きかけることができます)。
- PMP資格保持者間でのグローバルコミュニティは拡大しており、世界中の他のPMP資格保持者とのメールディスカッショングループやカンファレンスなどを通してのつながりによって、自身のプロジェクトマネジメント“ノウハウ”を業界で常に高い水準に保つことができます。

### 参加対象者:

組織目標達成にプロジェクトを実施しているすべての業界・職業分野における、プロジェクトマネジャー、チームメンバー、プロジェクトリーダー、技術者、生産技術者、ソフトウェア技術者、中間管理職、人事マネジャー、R&Dチームマネジャー、プロジェクトオフィススタッフ、オペレーションマネジャー、プログラム・ポートフォリオマネジャー、マーケティング管理者、品質保証部マネジャー、IT関係者、プロダクトマネジャー

## なぜ、PMP資格取得にこの研修が必要なのか

まずこの資格は、独学で合格するのはとても難しい資格であると言えます。多くの試験問題はProject Management Institute's (PMI) *Guide to the Project Management Body of Knowledge (PMBOK)*に準拠していますが、試験経験者の多くは単にPMBOKを読むだけで試験に臨んだため、散々な結果に終わってしまったと後に語っています。そして、試験合格に必要な概念を習得するには、PMBOK教材の細かい説明の理解が不可欠であると説明しています。本研修が必要なもの1つの理由としては、試験にでる問題の多くはPMBOKではカバーされていない点です。本研修によって、受講者は、

- PMBOKではカバーされていないが、試験には出る分野を学習できます。
- 様々な問題に応用できるPMI特有のコンセプト(概念)を理解します。
- 「仮に・・・だとしたら、あなたはどうしますか」というような状況設問やプロフェッショナルの責任問題などにおいて、いかに自分の持つ知識を応用できるかを学習します。

それでは、どのくらいの研修が必要なのでしょう。PMIは2002年度3月から、受験にあたって35時間のPMIに関する教育研修を新たに義務付けました。実際35時間以上の研修が必要かどうかは、受講者がPMBOK式プロジェクトマネジメントに準拠したプロジェクトマネジメントの知識を現在どれだけもっているかによります。それは必ずしも受講者自身や受講者が所属する組織が実践しているプロジェクトマネジメントと同じでないかもしれません。

## なぜ、PM-Globalの研修なのか

- 複数の大手IT企業のお客様へ年間を通して研修を実施している実績。弊社研修に対する高い評価の一例として、弊社ホームページにお客様からのコメントを掲載させて頂いております。
- PMBOKベースの方法論の導入等、PMBOKの実務適用を実際にコンサルティングサービスとしてお客様へ提供しています。単なる試験対策の説明だけではなく、受講者の理解に役立つ実務に照らし合わせた説明が可能です。
- 試験本番では、問題は英語で出題されそれに対し和訳を参照するかたちになります。弊社研修では、テキストの主要な用語、問題集のすべての問題は、英語・日本語両方で併記してあります。
- コースは日本語、英語、又その両方で提供することが可能です。
- PMP資格取得後のPDU維持についても、各種研修が実施可能です。

人事・研修マネジャーや個人の受講者を対象に以下のオプションサポート(有料)が提供可能です。

- 受講者の受験申請をサポートする申請代行サービス (現在申込みは英語のみです)
- PMIからの監査時対応サポート
- 講座受講後のメールフォローアップサービス
- PMBOKベーシック(1日)、直前演習講座(1日)、差分研修(3日)などニーズに応じた様々な補強コース

## 期間

5日間(35時間)

## PDU

35ポイント

## 言語

英語、日本語または日英のバイリンガル  
(バイリンガルコースは、外国人講師による英語中心のコースで、通常日本人講師が補助として同席し日本語による質疑応答を行っております。また、テキスト・教材等は全て英語・日本語で提供されます。)

## PMP資格試験対策講座スケジュール

### 1日目

1. 講座概要説明  
(PMI、PMBOK、申し込みプロセス等)
2. プロジェクトマネジメント・フレームワーク
3. プロフェッショナル責任
4. プロジェクト総合マネジメント

### 2日目

5. スコープ・マネジメント
6. コミュニケーション・マネジメント
7. タイム・マネジメント

### 3日目

8. 人材資源・マネジメント
9. コスト・マネジメント
10. リスク・マネジメント

### 4日目

11. 品質・マネジメント
12. 調達・マネジメント
13. 試験のポイント説明
14. 演習問題 1

### 5日目

15. 演習問題 2、全体のレビュー

\*プログラム内容詳細・価格につきましては別途お問い合わせください。



## For More Information

ピー・エム・グローバル株式会社  
〒104-0031 東京都中央区京橋2-7-14  
ビュレックス京橋8F  
Email: [info@pm-global.com](mailto:info@pm-global.com)  
Phone: 03-5159-2151

PM-Global K.K.  
8F Burex Kyobashi, 2-7-14 Kyobashi  
Chuo-ku, Tokyo 104-0031  
Email: [info@pm-global.com](mailto:info@pm-global.com)  
Phone: (03) 5159-2151